

瑞雲

明日を拓く 直方鉄工青年会 第67号 平成9年2月14日

新春を迎えて

第32代会長 篠崎光繁



新年あけましておめでとうございます。

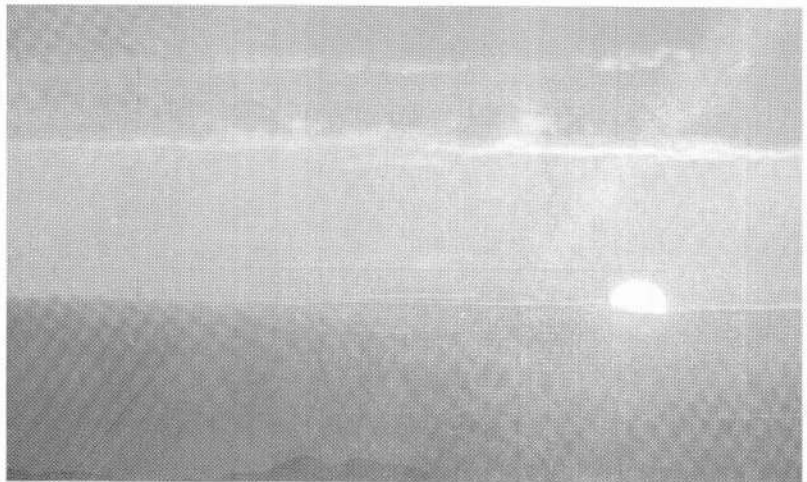
関係各位、会員の皆様には旧年中は大変お世話になりました。丑年の今

年、直方鉄工青年会は当初かかげたスローガンに向かって、日々新たに「牛歩」の如く前進し、努力は「牛の涎れ」の如く途切れなく、精一杯頑張っていく所存でござい

ます。

残り僅かではございますが、皆様のなお一層のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後に本年が皆様にとりまして、活気に満ちた飛躍の年となりますよう心から祈念いたしまして、簡単ではございますが新年のご挨拶といたします。



卒業おめでとうございます



卒業にあたって

幸田 良一



月日の立つのは早いもので、昭和54年入会し、今年3月で満18年になります。やや遅れての成人式の

様な気がします。

この18年の青年会活動を『起承転結』と綺麗に終局を向かえたかったのですが、スリーピングメンバーとして、他の会員の皆様に多大なご迷惑をおかけしました事に対し、心よりお詫び申し上げます。

この18年を振り返った時に、まず第一に思い出すのが、昭和59年の浅田毅会長の時代、経営委員会の委員長を仰せ付かり、この際、会長指針の一つに『地球社会に貢献する事業をやること』に対し、現在は姿を消した直方駅前の“噴水と炭坑夫の像”を全員で一日かけて大掃除をやった事です。各自、タワシとデッキホウキを手に手に、とっ

ても爽やかな汗をかいた唯一に近い思い出の一つであります。自己満足かもしれませんが、地域に貢献する意味では、青年会らしい活動であったと感激しました。

永遠に続く青年会に対して、“会員減”、“仕事の空洞化の波”等々、我々自身のサバイバルが問題となっている昨今です。しかしながら、青年会活動を通し培われた経営理念、具体的に、即とれる行動力、なによりもまして、一致団決の結束力に於いて、不滅の青年会の御発展は基より、微力ではございますが、何かお手伝い出来る事がありましたら、是非、声をおかけ下さい。ほんとに、ほんとに永い間お世話になりました。

たくさん楽しい、苦い、そして悲しい思い出をありがとう。



総務委員会の活動を振り返って

総務委員会

矢山 真人



篠崎会長の命を受け、平成8年度の総務委員長の職を仰せつかり早9ヶ月が経ちました。

過去の慣習にとらわれな
い独自の活動を行って
いこうと思ったのですが、
普段の忙しさにかまけて
最初の思いはどこへやら、
ただ事業を消化するだけの
委員会にしてしまったこと
を深く反省しています。
と同時に、変える事の
難しさを感じた9ヶ月でも
ありました。

その一つが4月通常総会。
今までの懇親会の在り方
を全面的に見直し、来賓
の挨拶

を省略し会員本位の総会
を目指したのだけれど、
どこか中途半端に終わっ
てしまいこれなら過去の
懇親会の方が良かったの
ではと、懇親会終了後自
問自答しました。篠崎丸
の船出に何かケチを付け
たようで.....

••もう少し入念な打ち
合せや計画があれば、違
った結果が出ていたでし
ょう。

何事も過去を否定し、新
しい物を作り上げる難し
さをこの時つくづく痛感
し又、土台を作り上げた
諸先輩方の力を改めて感
じさせられました。ただ、
後悔はしていません。結
果は失敗だったかも知れ
ませんが、一つの方向性
は示せたと思っています。

最後になりますが、篠崎
会長、縁の下の力になれ
ず申し訳ありません。し
かし、楽しい一年でした。
有難うございます。

経営委員会の活動を振り返って

経営委員会

桑原 英年



今年度、私達経営委員
会は、会長スローガン「
強めよう青年会の絆、取
り戻そう活力ある郷土!」
を念頭におき、経営的事
業だけにとらわれず各事

業を行ってきました。

まず、『絆』の面では、「
青年会対抗ソフトボール
大会」、『郷土』の面
では、まったりくらじ
「ホルモン鍋」出店、
それから私達

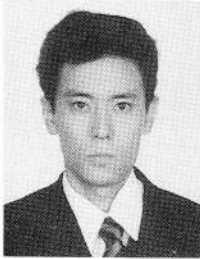
の委員会の目的でもあ
る『経営』の面では「
セミナー」、そして「
ディスカッション」で
は、会則、新幹線駅、
経営方針などについて
個々が想うことを発言
でき、聴ける機会が
つくれました。

私自身が思うには、各
事業に参加して頂いた
会員の方には満足して
もらえたと思っています。
このような事業が行え
たのも、和才副委員長
をはじめ、得居監事、
各経営委員、会員の皆
様のご協力と関係各位
の皆様方のご支援、ご
指導によるものだと思
い感謝しております。
今後とも何卒よろしく
お願い致します。

厚生委員会の活動を振り返って

厚生委員会

井上 義基



平成8年4月、篠崎会長に御指名頂き厚生委員長職を押しつけられました。

私自身、篠崎会長の紹介会員であり又、初めての委員長という事でとにかく頑張ってみようという意気込みだけでスタートした4月でした。

早いもので9ヵ月が経ち厚生委員会として「企業対抗ボーリング大会」「家族対象山登り」「研修旅行」と3つの事業を無事終え

る事が出来ました。

どれを取りましても思い出深い事業ですが特に研修旅行は海外という事もあり早期から計画していたのですが、出発1ヵ月前になって慌て出す始末でした。

私の力不足で反省すべき点がありますが、篠崎会長を始め青年会の皆様方の御協力により事業を形にする事が出来ました事をお礼申し上げます。

最後になりますが、青年会の諸先輩方や友人の有難さをつくづく感じさせられました一年間でした。青年会活動に対する考え方が、少しでも変わったと思います。有り難うございました。

広報委員会の活動を振り返って

広報委員会

吉川 祐二



平成8年4月、篠崎会長に指名頂き広報委員長をさせていただく事になりました。

私にとっては初めての役員ですのでなんとか頑張ってみようと思いましたが、思うようにはいきませんでした。

「瑞雲66号」は無事発行できたのですが、ファックスかわら版については、きちんと出していれば良かったのですが一度出せないかどうかといった内容にしていいものかわからなく

なってしまう始末でした。

あと広報委員会では、「瑞雲67号」発刊と「夫婦同伴卒業生を送る会」の2つの事業が残っていますので、今までの失敗を教訓にして進めて行きたいと思っております。

特に3月の「夫婦同伴卒業生を送る会」では、私の紹介会員でもあります幸田さんお一人ですので、幸田さんの思い出に残るような例会にしたいと思っています。

最後になりますが篠崎会長を始め青年会の皆様には、期待にそむき申し訳ありませんでした。

残りの3ヵ月は、全力で頑張ります。

新 入 会 員 の 介 紹

氏 名 植 木 剛
 生年月日 昭和36年4月4日
 自宅住所 直方市大字植木83-15
 自宅電話 09492 (4) 7910
 社 名 有限会社 植木鉄工
 所 在 地 直方市大字下境字原1-4
 T E L (09492) 2-4810
 F A X (09492) 2-4812

会社写真

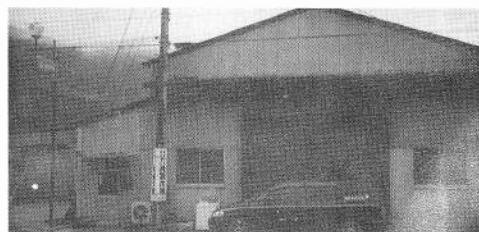


平成8年10月から入会致しました。「有限会社 植木鉄工」植木 剛と申します。昭和55年高校卒業後、家業を継ぎました。身内だけの小さな会社ですが、現在の工場に移って早くも丸5年たちました。不安一杯でスタートした法人初年度も残り少なくなり、気持ちは「来年度」と仕事に精出

ています。
 青年会の事は、以前在席していた会の運営で、苦勞した事や同業総会の欠席等、伝え聞き、知ってはいたものの尻ごみ状態でした。仕事も家庭も充実感一杯、でもなにか足りない。そんな時、大島君から誘いがあったのです。私自信、「個性こそ零細企業の生きる道」と信じていますので、皆様方の御指導、御意見、ガンガン賜りますよう！！お願いいたします。

氏 名 奈木野 正 照
 生年月日 昭和35年6月8日
 自宅住所 直方市大字山部787-7
 自宅TEL 09492 (2) 6252
 社 名 有限会社 八興製作所
 所 在 地 鞍手郡宮田町龍徳499-1
 T E L 09493 (2) 1370
 F A X 09493 (2) 4610

会社写真



直方鉄工青年会入会にあたって



奈木野 正照

私が、直方鉄工青年会に入会させていただききっかけは、紹介会員の名島憲二君に「一年間やってみないか」という一言でした。前々から、入会はずすめられていたのですが、入会を決める事ができなかった自分にとってやってみる事が必要なんだと、入会させていただき事ができました。入会後は、色々な行事、又その打ち合わせなどの中で、ただ回り

からながめているよりも、参加して行動する事の楽しさをおしえていただきました。

新しい物、知らない事の中には、楽しい事勉強になる事がいっぱいあるんだよ、と教えていただいた青年会の先輩方には、とても感謝しています。

又自分自身は、会社の経営にたずさわる中で地域社会に貢献できるようになりたいとつねづね思ってきましたが、さて方法と、なるとどうすれば良いのかと、考え込んでしまいます。

自社の発展、自分の成長が住んでいる町、回りの人々の御役にたてるよう諸先輩方に、御指導をお願いしながら勉強させていただきたいと思っております。

今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

氏名 浅田 晋 右
 生年月日 昭和46年4月13日
 自宅住所 直方市知古3-7-13
 自宅電話 09492(4)2617
 社名 浅田鉄工株式会社
 所在地 直方市上新入ル見1677-8
 TEL 09492(3)0211
 FAX 09492(4)6421

会社写真



此度、直方鉄工青年会に入会させて頂くことになりました浅田鉄工株式会社 浅田晋右(しんすけ)と申します。

自分は平成6年に大学を卒業した後、大阪にある日本建機株式会社にて二年間お世話になり、昨年四月に現在の会社に入社したばかりで、この世界に足を踏み入れて三年、直方での勤務に関しては一年も経っていないといったヒョッコです。

ですが、目標、野心だけは高く高くだっているつもりです。ですがそれにはまず越えなければならぬ壁があります。上司であり目標であり、好敵手でもある人。現社長浅田毅その人です。

今はまだ付いていく事すら出来ずにいる状態で、実際、肩を並べる事さえ出来るのかどうか分かりませんが。

たしかに長年社内で働いていればその色に染まる事は出来るかもしれませんが、それでは並ぶ事

は出来たとしても越える事は難しいと、会社の継続は成しえても発展までは望めないのでは、と思っております。

その為に、多様の方々が集まり色々な意見に耳を傾ける事の出来るであろう鉄工青年会は修行の場として最適ではないかと考えています。これを機会に、諸先輩方からより多くの様々な意見、アドバイス、御指摘御指導の程を賜り、人間形成の糧として、仕事の面や人間性の面で(遊びの面でも大いに)成長していければ、と思っております。

そして青年会活動においても参加するからにはただ単に参加するだけでなく、会中心を引っ掻き回す気持ちで、出る杭は打たれるかもしれませんが、打たれても打たれても出ていく気構えで参加させて頂きたいと思っております。

まだまだ右も左もわからぬ若造故、これから先、皆様方には御無礼、御迷惑を御掛けするかと思いますが、惜しみ無い御愛顧の程、何卒宜しくお願い致します。

平成8年度・同業専業



平成8年度 総会



香港・マカオ旅行
 平成8年11月3日～6日